

事業所名 グループホームまほろば
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年10月25日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)
B: 現職 元介護療養型病棟看護師
資格・経験 看護師(8年)、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

上道駅の本へ少し入った高台に在り、周りは植物園や自然農園の緑に囲まれて、とても落ち着いた環境である。
眼下にぶどう畑や、向かいの山の麓には団地の家々が見え、眺めが良い。ホームの周りにはとても素敵な散歩コースもある。

隣接の特養では、ボランティアによる文化教室やリラックスできる体操・喫茶など、曜日により豊富なメニューがあり、グループホームの入居者も参加をし、楽しんでいる。

社会福祉法人「第2まこと会」の理事長が別に障害者雇用を目的とした自然農園を営んでおり、そこで収穫した有機野菜や米を食材に使用している。
新鮮な上に体にも安心で、生活の中で食事をとても大切にしている事が感じられる。

居間や食堂・廊下など、共有部分は木目調で落ち着きがある。すずきが花瓶にさしてあったり、ききょうの絵を壁に飾ったりと、季節感も取り入れられており、職員の細やかな気遣いと優しい言葉掛けもあり、穏やかで居心地が良い。

法人全体での勉強会や研修にグループホームの職員も参加するなど、併設としての良い面を生かしつつ、食事作りなどの生活面は独立しており、グループ独自の暖かい雰囲気がある。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

着段の買い物支援が、あまりなされていない。必要なものは家族が購入して持ってきてくれ、買い物に行くとき他の入居者にお土産を買う為に買い過ぎたり、職員の人員の問題など難しい面もあると思うが、出かける機会が増えれば社会と関わりを持つという点からも、良いと思われる。年に2回、祭りの出店で買い物を楽しむという工夫はされていた。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) 「穏やかな日常生活が送れる事が一番大切である」という考えのもとに、安全面・健康面に特に気をつけている。表情やしぐさなど、入居者の様子にも注意を払い、気配り目配りのできるグループホームを目指している。加えて、笑顔で楽しく過ごせる工夫もしたいと考えている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) 場所の選定を良く考えて、食事の席やテレビを見る席、リビングでくつろぐ席を決めている。 気の合う人やペースの合う人と一緒にできるように配慮している。 入居者が迷わないように、なるべく不安の無いように工夫をしている。 トイレノ電気は「電気スイッチ」と書いて、赤い矢印で示してある。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) 体調に気をつけながら、花の水やり・モップかけ・雑巾を纏う・お膳やお箸を並べるなど、自分の好きな事やできる事を探し、楽しみながら手伝ってもらっている。 居室に入る時には、本人の許可を得る、何かをする時にも意見を聞くなどの基本的な事を大切にしている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) 隣接の特養と合同で「介護向上委員会」を月1回開催し、事例検討を行い、問題解決に努めている。 事例について様々な視点から解決策を導き出し、成果も出ている。		